

IMS (イムス) グループ 医療法人財団 明理会 明理会中央総合病院



医療法人IMS(イムス)グループの一員である明理会中央総合病院。
5年前に東京都北区に移転し、増床・診療科拡大で
地域中核を担う総合病院として新たなスタートを切りました。
新しい病院には若いスタッフが集まり、固定概念にとらわれない看護と
安心して働ける職場づくりを目指しています。
心臓血管外科・循環器内科(3階)病棟とICUの
スタッフからお話を伺いました。

出席者

こくぶん もとこ
國分 始子
看護部長

こしだわ
越礼 香
副看護部長

池田 幸平
3階病棟 看護師長

粕田 厚子
3階病棟 看護師主任

大川 美季子
ICU 看護師主任

西澤 侑汰
ICU 看護師副主任

渡邊 美貴
3階病棟 看護師

「CCUネットワーク」参画で 心外・循環器病棟、ICUが連携

國分 当院は1978年に組織された「東京都CCUネットワーク」(※1)に加入し、24時間365日、急性期の患者さんに対応しています。特に循環器病棟・ICU担当者は非常に忙しく、緊張感ある中で働いています。
池田 私たちの担当する3階病棟は心臓血管外科・循環器内科48床で、29人の看護師がいます。毎日7、8人の患者さんが心臓血管カテーテル検査やアブレーションを行っています。ICUに隣接しており、連携は重要です。いつでも重症患者の受け入れができるようベッドコントロールをしています。
大川 ICUは5床で、13人の看護師がいます。心臓血管外科、循環器内科の患者さんがメインで、検査・治療後に状態が安定すると3階病棟へ移します。プリセプター会議を3

階病棟と合同で行うなど交流は頻繁で、休憩室も一緒なので、コミュニケーションは取りやすいですね。入退院の頻繁な病棟なので、ここでもスタッフの綿密な連携と協力が必須です。

若い病院に若い看護師 共に学び合う土壌をつくる

國分 非常に忙しい職場だからこそ「より良い医療のためには看護師自身が心身ともに健康であることが必要」と考え、さまざまな取り組みをしています。

西澤 私は一般病棟からICUに異動しました。異動前は「すごく大変で、殺伐としているのだろう」と思っていました。実際に来ると、大変なのは事実ですが、スタッフの雰囲気はとても和やかでした。

越礼 当院は開院からまだ5年目と新しい病院です。スタッフの年齢層も若く、30代の主任や師長も大勢います。固定概念にとらわれず、若いスタッフのアイデアを大切に、目の前の課題に全員一丸となって解決にあたる雰囲気があると思います。

國分 新人も多いので教育体制の整備にも力を入れています。中でも力を入れているのは入職一年目のプログラムです。「グループ研修」「院内研修」「ラダーシステム」「サポートシステム」を整え、全職員を対象に

BLS研修も行っています。院内にBLSの人形が5体、「フィジコ」も1体あります。

越礼 患者さんを大切にするように、看護師一人ひとりも大切にしようと考え、特に心のケアを重視しています。少し前までは「聞いて百を知れ」というような教育が主流で、1年もたらず職場を去る看護師も少なくありませんでした。私たちは、そうした「バーンアウト寸前」のナースも積極的に受け入れています。こうした人には真面目で優しい人が多く、頑張り過ぎてしまうのでしょうか。上手な頑張り方を一緒に考え、時間をかけて丁寧に教えていくとだんだん笑顔と元気を取り戻します。良い部分をたくさん引き出して成功体験を重ねることが大切だと感じます。

——実習生の受け入れにも力を入れているそうですね。

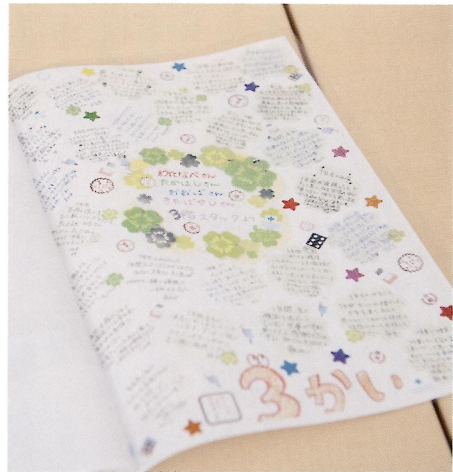
國分 「看護学生のためのカンファレンス室」をつくり、一人ひとりの目標やペースに合わせて個別指導をしています。こうした「学生を大切に」「姿勢を形にしたものが「ウェルカムボード」です。看護学生の実習初日に病棟前に、「〇〇さん、ようこそ明理会へー」という看板をつくって迎える習慣があるんです。学生さんは本当に緊張して実習に来ます。以前の実習後のアンケートでは「何もできない自分は邪魔になったのでは」と書いてきた方もいました。だから、「あなたを歓迎しているよ」というメッセージを伝え、リラックスして実習に臨んでもらえたら、という気持ちで始



國分 始子さん

※1 急性心筋梗塞をはじめとする急性の心臓疾患に対し、患者を迅速に搬送し、設備の整った専門の施設で治療を行うことを目的に、都内のCCU (Coronary Care Unit: 心臓疾患用の集中治療室) を備えた病院、東京消防庁、東京都医師会、東京都福祉保健局で組織されたネットワーク。2013年4月時点で参加病院数71

看護部訪問



ナラティブ研修後、発表者には先輩看護師からの寄せ書きが渡される。各科ごとに独自の表現で工夫されている

も看護師も、丁寧に教えてくれます。

——外国人スタッフもいるそうですね。

越礼 現在、中国人の看護師が1人います。彼女は日本で看護師資格を取った3年目の看護師です。ポテンシャルが高く自発的に勉強するので、スキルもすぐに追いつきます。急性期看護を希望してICUに異動してきました。とてもやる気があり、理解も早いです。



越礼 香さん



粕田 厚子さん



西澤 侑汰さん

めたのです。

渡邊 私も病院実習で緊張した経験があります。ウエルカムボードには現場の看護師からのメッセージも添え、実りある実習になるよう応援する気持ちを伝えていきます。

國分 こうしたことが評価されているのか、実習先としての人気が高く、そのまま就職を希望してくれる人も多いんです。

——新人看護師の育成について、もう少し教えてください。

渡邊 とにかく丁寧に、時間をかけて教えてくれることが特徴だと思います。私は、心臓に興味を持ち、希望してこの病棟に配属になりました。最初は、心電図モニターのアラーム音に飛び上がる日々でした。学生時代にしっかり勉強したはずなのに、現場ではほとんど役に立ちません。知識も経験もなく、将来像も描けず、不安ばかりでした。

そんなタイミングで、プリセプターの方との面談がありました。どんな看護を目指すのか、じっくり話を聞いてもらえ、考えを整理できました。このような環境で育ててもらったので、私自身も長い目で後輩を育てる意識があります。

西澤 短期間で一人前にしようと無理をさせた結果、患者さんに迷惑がかかっては元も子もありません。「夜間勤務にも一人に対応できる」ことを目指し、教える側も教わる側も長期で学び合っています。

大川 私は転職だったので、循環器病棟に配

分らないことをすぐに聞ける環境が幸いし、知識や技術をどんどん吸収していくのが分かります。その姿に私たちも刺激を受けています。

看護を語るナラティブ研修 次のステップへの財産

國分 当院では、毎年3月にその年を振り返る「ナラティブ」を軸とした研修を行っています。V・ヘンダーソン氏の看護理論をもとに、看護師が自分の行ったケアについての「物語」「ナラティブ」を語るのです。一人ひとりの患者さんとの関わりを言葉にし、自身が行った看護を振り返ることで自己の看護観が深まります。発表者は1年目の看護師です。1年目の看護師の多くは、最初の年に経験した「理想と現実のギャップ」を語りますが、そばで見るとその成長を実感します。本人だけでなく、成長を支えたプリセプターや患者さんとの関わりも見えてきます。当時の記憶が蘇り、涙あふれる発表になることもよくあります。研修後は、先輩看護師からナラティブの感想が寄せ書きの形で贈られます。このフィードバックによって発表者以外のスタッフにも参加意識が生まれるのです。この研修は、看護部全体の結束を強めるとともに、次のステップへの布石となつていきます。

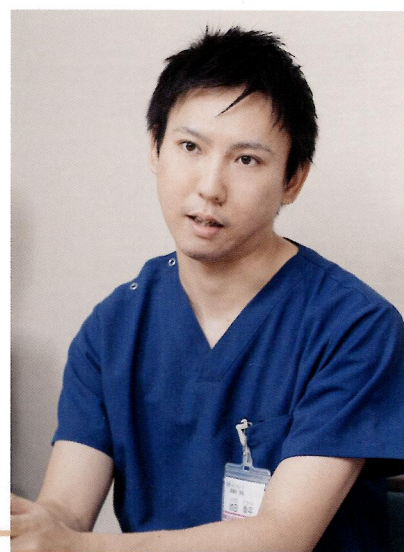
越礼 まさに「共に育つ」という感覚です。人の成長に関われることを実感し、感動します。職場は「仕事するだけの場」ではありません。



大川 美季子さん



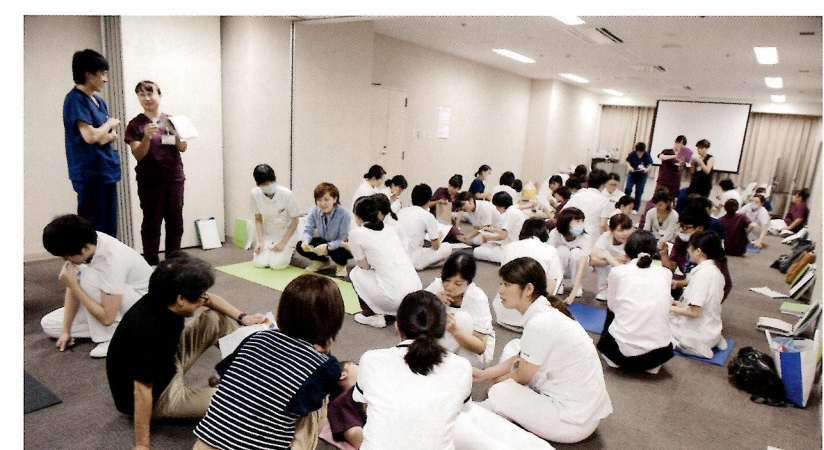
渡邊 美貴さん



池田 幸平さん

属された当初は「新人でないのに」と思っ、聞きたいことが聞けませんでした。でも、周囲のスタッフが察して教えてくれ、同年代が多いこともあつてすぐに打ち解け、励まし合つて頑張れています。

粕田 何年目であろうと「知らないで教えてください」と言える雰囲気ですし、どの医師



1年目のスタッフを対象とした研修は、個人のスキルアップと仲間との連携を深められる

Nurse Partners

ナースの応援誌「ナースパートナーズ」

2014
12
December
No.61



思いを伝える「言葉」が
自他を支える力になる

FRONTIER
学校法人 埼玉医科大学
社会福祉法人 毛呂病院
総看護部長
野口 久美子

エール
東京医科大学 脳神経外科学分野
主任教授
河野 道宏



看護部訪問
IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会
明理会中央総合病院



民間医局
株式会社 メディカル・プリンシパル社

看護部訪問

優しさ・信頼・誠実 個性を重視した看護体制

看護師を長く続けていると、さまざまな壁にぶつかります。ナラティブ研修は、ベテラン看護師にとっても、悩みを分かち合ったり、新人のころの熱い決意を思い出したりする場になっています。

渡邊 私はこの3月にナラティブ研修を行いました。看護学校の実習とは違い、現場では一人の看護師として責任を持たなければなりません。でもまだまだ未熟で、毎日が緊張でした。ナラティブでは、先輩方から聞いた「ベテランになると働く看護師の第6感の話や、「ゆつくり、焦らず、それを目指そう」というアドバイスに従って仕事に励んだ日々を振り返りました。発表後は大きな達成感と感謝で涙が止まりませんでした。来年はプリセプターとして参加できるので、どのような発表を聞くことができるのか、楽しみです。

産・育児を迎える状況です。

渡邊 私は夫の両親と同居しており、子供の体調が悪い時には両親に預けて仕事をしていました。「家庭の事情で仕事を休むわけにはいかない」と思っていたのです。でも、副部長から「看護師の代わりはいるけれどお母さんの代わりはいない。子供が不安な時はそばにいてあげて」と言われ、救われる思いでした。

越礼 皆が看護師である前に一人の人間です。プライベートでも役割があり、異なる事情を抱えています。今は母や妻の役割を担う看護師が多いですが、今後は介護や孫の世話などの事情も出てくることでしょう。そうした事情をお互いが理解し、サポートし合えるような職場にしたいですね。

國分 当院は過去3年、育児休業を取得したスタッフが全員復職しています。現在も25人が産休・育児を取得中で、休業と復職が当然の流れになっています。

池田 各自で抱える事情や価値観は異なるので、勤務形態が多数あるのが助かっています。サポートする側としては大変な面もありますが、協力し合う大切さを重んじる、そんな雰囲気病院全体に定着しています。

國分 「優しさ・信頼・誠実」の理念のもと、若いスタッフが大きく成長し、病院と共に進化することを期待しています。

DATA IMS(イムス)グループ
医療法人財団 明理会
明理会中央総合病院

〈病院概要〉

所在地：〒114-0001
東京都北区東十条3-2-11
TEL：03-5902-1199
病床数：311床
診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、神経内科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、小児科、婦人科、女性不妊外来、ペイン外来、呼吸器外科

〈看護部概要〉

看護職員数：389人
(看護師・准看護師・助手)
看護職員配置：7対1(一般)
看護体制：2交替制(看護師・准看護師)

